

Confidential

(一般社団法人) 全日本釣り団体協議会

平成 26 年 6 月 11 日

(NPO 法人) 釣り文化協会

公認 釣りインストラクター

公認フィッシングマスター

東海釣りインストラクター協議会

JOFI東海.com

[http://jofiaichi.web.fc2.com]

大反響 !!
新聞記事

“海づり公園来年「復活」”

＜中日新聞 H26. 6.8. 朝刊＞

6月8日(日)中日新聞朝刊の“海づり公園 来年「復活」”の記事が大反響をよんでいます。 当記事掲載以来、多方面の方々からご質問・ご要望をいただきましたので、質問に対する回答を含め、現状を報告致します。

現在、名古屋港の魚づり施設の建設は、「暫定魚つり施設」と「(あり方検討中の) つり施設」の2つの路線で進行中です。 各々の釣り施設毎に解説いたします。

＜ 暫定魚つり施設 ＞

この施設は、現在津波対策工事中の「名古屋港海づり公園(高潮防波堤)」の閉鎖に伴う緊急措置として建設されるものです。 現在、駐車場等付属施設の工事と本体施設の工事が並行して進められております。 工期は、8ヶ月間で、つり施設としては、今年末あるいは来年早々の開場予定です。

なお、『暫定』とは、当面の間供用するという意味で、閉鎖の時期は決まっておりません。 なお、新聞記事中のブルーサンビーチは、新舞子マリンパーク内にある人工海浜のことで、暫定施設の建設地ではありません。 工事中は大変危険ですので、絶対に近よらないようご注意ください。

＜ (あり方検討中) 魚つり施設 ＞

現在4候補地(新宝緑地・飛島ふ頭西側・弥富ふ頭埋立検討地・知多堤＝名古屋港海づり公園)の魚介類調査・水質調査を実施中で、この結果と安全面・交通面などを含めて検討し、有識者6名で構成され、来年2月に開催予定の『名古屋港魚つり施設あり方検討会』で、施設候補地が決定される予定です。

海づり公園 来年「復活」 知多に暫定施設



南海トラフ地震などによる津波対策のため、昨年一月末に閉鎖された「名古屋港海づり公園」の代替施設が、近く「多市」の人工島「名古屋港南5」に建設される。愛知県知多市は、海づり公園(愛知県知多市)の閉鎖に伴う緊急措置として建設されるもの。現在、駐車場等付属施設の工事と本体施設の工事が並行して進められております。工期は、8ヶ月間で、つり施設としては、今年末あるいは来年早々の開場予定です。

在は立ち入り禁止となつて、区」の堤防に暫定的に進んでいる。しかし、海づり公園の閉鎖以降、無断で釣りをする客が増えていることから、名港管理組合は安全対策を取った上で開放することをした。海づり公園にあった転落防止柵を再利用するほか、防犯のための照明灯を設置。駐車場四十台分も整備する。

海づり公園があった高潮防波堤のかさ上げ工事は今年九月に始まる。名古屋港

「区」の堤防に暫定的に進んでいる。しかし、海づり公園の閉鎖以降、無断で釣りをする客が増えていることから、名港管理組合が、釣り愛好家らの要望を受け、総費用一億円で整備を進めており、二〇一五年初めの一層開放を目指している。海づり公園は、知多市から伊勢湾に突き出た長さ千三百メートルの高潮防波堤を利用し、名港管理組合が一九九二年に開設。駐車場やトイレもあり、二十四時間開放された。クロダイなど大物が釣れるため人気を集め、年間十三万人が利用した。代替施設が整備されるのは、海づり公園の南西約四キロ、知多市の新舞子ブルーサンビーチ近くにある名古屋港南5区の南岸堤防。長さ七百四十メートル、幅四メートルの干潮時の平均水面からの防波堤の高さは、現在の六・四メートルから八メートルに引き上げられる。工事後に海づり公園の再開を求める声があるが、安全が確保されるかや、魚が集まるか分からないことから現時点では未定。有識者らが活用方法を検討している。(東海通信局・有川正俊)

〔中日新聞〕
 六月八日朝刊
 15頁